

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●オレリアン・ルメートル騎手がJRA初勝利をあげる

1月6日(土)の1回京都1日・第5レースではエラトーが1着となり、同馬に騎乗したオレリアン・ルメートル騎手(フランス)は、JRA初勝利(5戦目)をあげました。

### ●野中騎手が通算100勝、ルメール騎手は通算1800勝を達成

1月6日(土)の1回中山1日・第12レースではクインズミモザが1着となり、同馬に騎乗した野中悠太郎騎手(美浦・根本康広厩舎)は、現役96人目となるJRA通算100勝(3915戦目)を達成しました。翌7日(日)の1回中山2日・第9レースとして行われた初日の出賞ではダイバリオンが1着となり、同馬に騎乗したクリストフルメール騎手(栗東・フリー)は、史上13人目・現役5人目となるJRA通算1800勝(8375戦目)を達成しました。武豊騎手の9189戦を上回る史上最少騎乗回数での1800勝達成となりました。

### ●松山弘平騎手がJRA通算1万2000回騎乗を達成

1月7日(日)の1回京都2日・第2レースでファストフライトに騎乗した松山弘平騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で史上35人目・現役20人目となるJRA通算1万2000回騎乗を達成しました。デビューから14年10か月7日、33歳10か月7日での達成は、北村宏司騎手の15年11か月10日、34歳6か月23日を更新する史上最速および最年少記録となります。

### ●イクイノックスが2年連続でJRA賞年度代表馬を受賞

2023年度のJRA賞競走馬部門各賞は下記の通りとなりました。また馬事文化賞は岡田敦氏の『エビタフ 幻の島、ユルリの光跡』(インプレス刊)が受賞しています。

- 年度代表馬……………イクイノックス(美浦・木村哲也厩舎)
- 最優秀2歳牡馬……………ジャンタルマンタル(栗東・高野友和厩舎)
- 最優秀2歳牝馬……………アスコリピチューノ(美浦・黒岩陽一厩舎)
- 最優秀3歳牡馬……………タスティエーラ(美浦・堀宣行厩舎)
- 最優秀3歳牝馬……………リバティア일랜드(栗東・中内田充正厩舎)
- 最優秀4歳以上牡馬……………イクイノックス(美浦・木村哲也厩舎)
- 最優秀4歳以上牝馬……………ソングライン(美浦・林徹厩舎)
- 最優秀スプリンター……………ママコチャ(栗東・池江泰寿厩舎)
- 最優秀マイラー……………ソングライン(美浦・林徹厩舎)
- 最優秀ダートホース……………レモンポップ(美浦・田中博康厩舎)
- 最優秀障害馬……………マイネルグロン(美浦・青木孝文厩舎)
- 特別賞……………ウシュバテソーロ(美浦・高木登厩舎)

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●金の鞍賞(高知)はプリフロオールイン【各地の主要2歳重賞】

金の鞍賞(12月28日、高知、1400 $\text{m}$ )は、逃げた単勝1.4倍で圧倒的人気のプリフロオールイン(牡、父アニマルキングダム)が後続を4馬身引き離し、ネクストスター高知に続いて重賞を連勝。金杯(12月30日、水沢、1600 $\text{m}$ )は、3番手前後を進んだ6番人気のリトルカリッジ(牝、父アジアエクスプレス)が残り50 $\text{m}$ で差し切りしました。ライデンリーダー記念(12月30日、笠松、1400 $\text{m}$ )は、4番手から差を詰めたネクストスター名古屋の覇者ミトノユニヴァース(牡、父ロジユニヴァース)が直線入口で抜け出し、単勝1.3倍の支持に依って4馬身差で楽勝。東京2歳優駿牝馬(12月31日、大井、1600 $\text{m}$ 、牝馬)は、2番手から3、4コーナー中間で先頭に立った2番人気のローリエフレイバー(父マジェスティックウォリアー)が、1番人気のミスカッラーラに2馬身差を付けてデビュー2戦目から4連勝を達成しています。

### ●バロンドールらが参戦、1月17日のブルーバードC(船橋)

今年から新たにダートグレード競走となったブルーバードC(JpnⅢ、3歳、船橋、1800 $\text{m}$ )は、この距離2勝のバロンドールが最有力、同じく1800 $\text{m}$ で2勝の牝馬アンモシエラが続き、以下エコロガイア、ウルトラノホシ(佐賀)、ブラックバトラー(北海道)、カプセル(北海道)、バハマフレイバー(船橋)の順に有力視されます。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●2023年の英愛馬統計～英愛首位種牡馬はフランケル

2023年の英愛チャンピオンサイヤーにフランケル(2008年生まれ、父ガリレオ)が輝きました。G1プリンスオブウェールズSとG1インターナショナルSを制したモスターダフ、G1英2000ギニーに優勝したカルディーンなどが活躍。2年ぶり2度目の戴冠となりました。取得賞金は714万3651ポンド(約13億2872万円/1ポンド=186円で換算。以下同じ)。5月6日(英2000ギニー開催日)から10月21日(英チャンピオンズデー)までの期間で争われたイギリスの騎手はW.ビュイック騎手(35歳)が135勝を挙げて2年連続2度目の首位。1月1日～12月31日を集計期間とする同調教師は父ジョンと息子タディの共同名義であるJ&T.ゴスデン厩舎が取得賞金721万1330ポンド(約13億4131万円)で初のチャンピオンに輝きました(父ジョンは個人として過去に5度首位)。